

No.2474

霊峰立山と名峰劔岳に行く 立山三山・劔岳

実施日 2010年8月22日(日)～25日(木)

天候 晴れ

C L 馬場 清士

S L 涌井良明／島本陳重

参加者 渡辺清、馬場清士、涌井良明、
島本陳重、鈴木政三、渋谷賢寿、
渋谷京子、柴田正喜、中村友子
計9名

費用 交通費 25,000円
宿泊費 27,500円 計 52,500円

タイム 22日 信濃大町(11:10 バス・トイレ・徒歩・ケーブル・ロープウェイ・トイレ)室堂(14:40)みくりが池温泉(15:00)泊
23日 みくりが池温泉(6:45)一ノ越(7:50~8:00)雄山(9:00~9:30)大汝山(9:50~10:00)真砂岳(10:50~11:15)別山(12:00)北峰往復(12:40)別山乗越(13:05)劔沢小屋(14:00)泊
24日 劔沢小屋(5:20)劔山荘(5:40)一服劔(6:20)前劔(7:20)劔岳(9:30~10:00)劔沢小屋(14:30)泊
25日 劔沢小屋(5:30)別山乗越(6:35)雷鳥平(7:50)みくりが池温泉(9:00~10:40)室堂(11:00)信濃大町(14:05)

22日・信濃大町から約3時間30分、立山黒部アルペンルートで室堂ターミナルに降り立つ。一気に2,450m



の高所に立つと、下界の暑さが嘘のようだ。

天気快晴、目の前に雄山、大汝山、富士ノ折立の立山三山が聳えている。周囲の風

景を眺めながら、今日の宿泊先みくりが池温泉に到着し、早速一汗流すことにする。温泉も食事も最高だ。



23日・立山三山を目指し早朝に出発した。室堂平から石畳の道をジグザグに登る



と一ノ越だ。此処から雄山山頂へはゴロゴロした石の登山道が続く。

最後の急登が終わると、雄山神社社務

所の前に出た。

大勢の観光客、登山者がいる、こぶし会の数人も山頂本社でお祓いを受けた。



目の前に北アの山々が望める。殆どの方が雄山で下山するので、3,000mの稜線歩きは静かで気持ちいい。

大汝山を過ぎ、富士ノ折立を巻き、真砂岳へ向かう。後立山連峰が見え、眼下には、



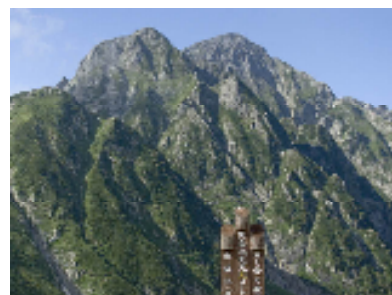
室堂平、地獄谷が広がる。

真砂岳から一旦下り、登り返すと別山だ。ザックを置き北峰に行く、

北峰は劔岳を正面から望める場所だ、目の前の劔岳の威容に圧倒される。本当に登れるのだろうか少し弱気になった。

別山で大休止を取り、別山乗越に下り、劔沢小屋に向かう。

新しくなった劔沢小屋は清潔でとても良い。温かい物は温かく、作りたてを出してくれ



る心遣いが嬉しい。劔沢小屋の正面に、明日登る劔岳が威厳を持って構えている。

24日・5時20分劔岳を目指し出発、自分も含めて皆の顔が昨日までとは違い幾分緊張気味に感じる。



小屋を出てすぐに劔沢雪渓を横切り、暫く行くと劔山荘前が出る。此処からいよいよ劔岳の登りにかかる。



岩道をジグザグに登り、最初の鎖場の岩場を越えると一服劔だ。これから行く前劔のガレ場の登りが良く見える。

ガレ場を慎重に登り、鎖の掛かる前劔大岩を過ぎ、前劔を巻いて行く。

鉄のブリッジを渡り、岩峰をトラバースし谷側へ下ったり、高度感のある一枚岩を下ったりしながら、カニのタテバイに向かう。



垂直に近い50m程の岩場を越えて、ガレ場の登りが終わると、憧れの劔岳の山頂に立った。感激で一杯だ。



晴天の中、祠が祀られた2,999mの山頂は、北アルプスを初め360度の展望で、感動の連続だ。

下山はカニのヨコバイが待っている。垂直に岩場が切れ落ちて、最初の足場が見えない。恐怖心を克服し、



慎重に高度感のある岩場をトラバースして行く。急な鉄ハシゴやガレたルンゼを下り、平蔵のコルに下りた。

上りルートと違う下りルートを慎重に下り、遂に劔岳を登りきった。

最初から最後まで、景色など見る余裕はなく、緊張の連続であったが、満ち足りた達成感、充実感があった。

25日・昨日の余韻を感じながら劔沢小屋を後にした。

別山乗越を経由し雷鳥平からみくりが池温泉



に戻り、久しぶりの入浴を楽しみ、祝杯を挙げて帰途についた。参加された皆さんの充実感はいかがでしたでしょうか。

無事に山行を終えたことに感謝いたします。さて、再度挑戦する方は・・・

(記・馬場 清士)
(写真提供・涌井 良明)

